

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	歴史総合	単位数	2単位	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース
使用教科書	明解 歴史総合(帝国書院)		副教材等	準拠ノート『明解 歴史総合ノート』(帝国書院)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 ・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史の特質と資料 2部 近代化と私たち 序章 近代化への問い 1章 江戸時代の日本と結びつく世界	・私たちは過去の状況をどのようにして知り、伝えてきたのか理解する ・「近代化」について考察する ・18世紀の日本やアジア、ヨーロッパの結びつきについて理解する	○			近代化に関わる史資料を読み解く技術を身に付けている	
				○		「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現できる 中学校までの学習を踏まえて、見直しをもって学習に取り組み、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとする	
5	2章 欧米諸国における近代化	・欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したか理解する	○			市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している	定期考査 授業態度 課題 プリント
				○		市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現することができる	
					○	市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとする	
6	3章 近代化の進展と国民国家形成	・近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのか理解する	○			国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している	
				○		国民国家の形成・発展による対外戦争や帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現することができる	
					○	国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとする	
7	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	・近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのか理解する	○			欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している	
				○		アジア諸国の変容を比較・関連させて考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現することができる	
					○	欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとする	
8	5章 近代化が進む日本と東アジア	・日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのか理解する	○			明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している	定期考査 授業態度 課題 プリント
				○		明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現することができる	
					○	明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとする	

月	学習項目	学習内容 (ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 序章 国際秩序の変化や大衆化への問い 1章 第一次世界大戦と日本の対応	<ul style="list-style-type: none"> 「国際秩序の変化や大衆化」について考察する 第一次世界大戦は、日本を含む世界の人びとにとってどのような戦争になったのか理解する 	○			国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発時から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々が戦争に協力した目的について考察し、自分の言葉で表現することができる 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会に生み出した課題について考察し、解決策を追究しようとする	
10	2章 国際協調と大衆社会の広がり	<ul style="list-style-type: none"> 欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのか理解する 	○			ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現することができる ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と大衆社会の到来が現代社会に生み出した課題を考察し、解決策を追究しようとする	
11	3章 日本の行方と第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> 大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのか理解する 	○			世界恐慌への各国の対応が世界情勢に与えた影響と、ソ連のスターリン独裁の功罪について理解している ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、自分の言葉で表現できる 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとする	定期考査 授業態度 課題 プリント
12	4章 再出発する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化したのか理解する 	○			冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのか考察できる 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が現代社会に与える影響について考察し、解決策を追究しようとする	
1	4部 グローバル化と私たち 序章 グローバル化への問い 1章 冷戦で揺れる世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> 「グローバル化」について考察する 冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような選択をしたのか理解する 	○			55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している 冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現できる 冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのか考察し、解決策について追究しようとする	
2	2章 多極化する世界	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような経済成長を遂げたのか理解する 	○			1960年代～80年代を中心に、冷戦下における各国の選択と経済成長について理解する 各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、自分の言葉で表現できる 冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会にどのような課題を生み出したのか考察し、解決策を追究しようとする	定期考査 授業態度 課題 プリント
3	3章 グローバル化のなかの世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦が終わり、グローバル化は、世界をどのように変えたのか理解する 	○			冷戦終結の過程とグローバル化の特質について理解している グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自分の言葉で表現できる 冷戦の終結とグローバル化の進展がどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする	